

議会開会中

第3回定例会

主な議案のあらまし

平成27年第3回定例会は、9月3日から17日までの15日間の日程で開催しました。

本定例会では、平成27年度補正予算、条例改正などの審議のほか、平成26年度各会計決算について市長から決算大綱説明が行われ、決算審査特別委員会で審査を行いました。また、市政について12人の議員が一般質問を行いました。

◎平成26年度各会計決算

決算審査特別委員会で慎重な審査を行い、各会計決算8件を本会議において認定しました。

決算額は、一般会計が歳入22億6、096万円に対し、歳出22億2、341万円で、差し引き4億2、755万円の剰余となりました。

国民健康保険特別会計は、歳入51億9、445万円に対し、歳出51億8、793万円で、差し引き652万円の剰余、公営住宅事業特別会計は、歳入6億3、198

万円に対し、歳出6億76万円で、差し引き3、122万円の剰余、介護保険特別会計は、保険事業勘

定で、歳入35億723万円に対し、歳出34億3、224万円で、差し引き7、499万円の剰余、介護サービス事業勘定で、歳入1億8、930万円に対し、歳出1億6、804万円で、差し引き2、126万円の剰余、後期高齢者医療特別会計は、歳入5億5、553万円に対し、歳出5億5、402万円で、差し引き151万円の剰余が生じました。土地区画整理事業特別会計は、歳入2、088万円に対し、歳出2、088万円となりました。

下水道事業会計の収益的収支は、事業収益13億952万円に対し、事業費用12億8、166万円で、2、786万円の純利益、資本的

収支は、収入6億4、133万円に対し、支出11億8、848万円で、差し引き不足額5億4、715万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。病院事業会計の収益的収支は、事業収益65億6、559万円に対し、事業費用は78億6、424万円で、12億9、865万円の純損失、資本的収支は、収入9、490万円に対し、支出5億2、756万円で、差し引き不足額4億3、266万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

◎平成27年度補正予算

一般会計は、補正予算第4号・第5号により1億3、790万5千円を増額補正し、総額21億1、905万2千円となりました。

主な事業費は、西小学校受変電設備等改修工事費の実施のための経費9、938万7千円のほか、児童扶養手当額の改定に伴う経費501万3千円、私立幼稚園就園

奨励費補助金の増額のための経費219万6千円、総務省の補助金を活用して行う個人番号カードの交付事務の経費157万5千円、日本で最も美しい村連合への加盟に伴い日本で最も美しい村江部乙協議会への交付金のための経費340万5千円、平成26年度国庫補助負担金および道費補助負担金の返還のための経費1、994万1千円、インフルエンザワクチン単価改定に伴う予防接種手数料および予防接種委託料の増額のための経費174万9千円などです。

国民健康保険特別会計は、国の特別調整交付金を利用して国民健康保険被保険者の特定健診受診率向上のため、475万2千円を増額補正し、総額57億7、616万3千円となりました。

介護保険特別会計は、国庫支出金等の精算による償還金の増額などのため、1、966万1千円を増額補正し、総額36億2、020万5千円となりました。

病院事業会計は、中空知医療連携ネットワークシステムを構築するため、3、024万円を増額補正し、資本的支出総額11億4、0